

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公開番号】特開2013-195971(P2013-195971A)

【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2012-66350(P2012-66350)

【国際特許分類】

G 02 B	5/20	(2006.01)
G 02 B	5/22	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)
H 05 B	33/12	(2006.01)
G 03 F	7/004	(2006.01)
G 03 F	7/027	(2006.01)
G 02 F	1/1335	(2006.01)
C 09 B	67/46	(2006.01)
C 08 F	290/14	(2006.01)

【F I】

G 02 B	5/20	1 0 1
G 02 B	5/22	
H 05 B	33/14	A
H 05 B	33/12	E
G 03 F	7/004	5 0 5
G 03 F	7/027	5 0 2
G 02 F	1/1335	5 0 5
C 09 B	67/46	B
C 08 F	290/14	

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月9日(2015.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

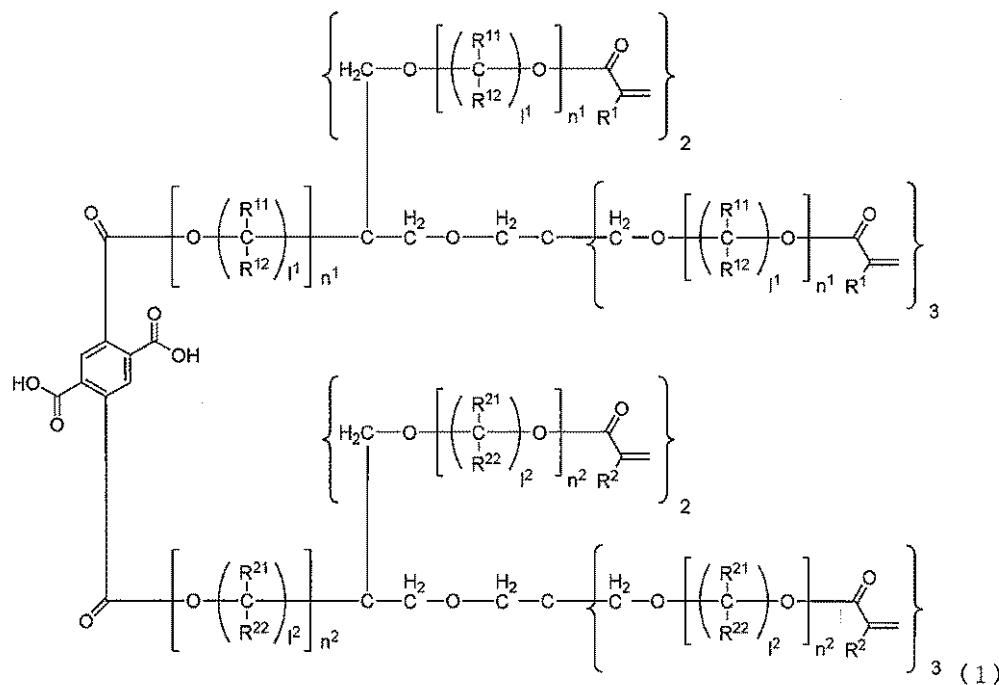
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 色材、(B) 溶剤、(C) バインダー樹脂を含有する着色樹脂組成物において、更に、下記式(1)で表される化合物を含むことを特徴とする、カラーフィルタ用着色樹脂組成物。

【化1】



(上記式(1)中、

R^1 及び R^2 、 R^{11} 及び R^{12} 、並びに R^{21} 及び R^{22} は、各々独立に、水素原子又は置換基を有していてもよい炭素数の1～4アルキル基を表す。

但し、 R^{11} 及び R^{12} 、並びに R^{21} 及び R^{22} は、各々独立に、互いに結合して環を形成してもよい。

l^1 及び l^2 は、各々独立に、1～12の整数を、
 n^1 及び n^2 は、0～12の整数を表す。

尚、一分子中に、複数含まれる- $C R^{11} R^{12} -$ 、- $C R^{21} R^{22} -$ 、 R^1 、 R^2 、 l^1 、 l^2 、 n^1 及び n^2 は、各々、同じでもよく、また異なっていてもよい。)

【請求項2】

前記式(1)で表される化合物の含有量が、全固形分中、1重量%以上、70重量%以下であることを特徴とする、請求項1に記載のカラーフィルタ用着色樹脂組成物。

【請求項3】

前記(A)色材が、C.I.ピグメントグリーン58を含有することを特徴とする、請求項1又は2に記載のカラーフィルタ用着色樹脂組成物。

【請求項4】

更に、(D)光重合開始成分及び/又は熱重合開始成分を含有することを特徴とする、請求項1～3のいずれか一項に記載のカラーフィルタ用着色樹脂組成物。

【請求項5】

更に、分散剤として変性アクリル系共重合体を含有することを特徴とする、請求項1～4のいずれか一項に記載のカラーフィルタ用着色樹脂組成物。

【請求項6】

前記変性アクリル系共重合体が、親溶剤性を有するAブロック及び窒素原子を含む官能基を有するBブロックからなるブロック共重合体からなり、そのアミン価が80mg-KOH/g以上150mg-KOH/g以下(有効固形分換算)であることを特徴とする、請求項5に記載のカラーフィルタ用着色樹脂組成物。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項に記載のカラーフィルタ用着色樹脂組成物を用いて形成された画素を有することを特徴とする、カラーフィルタ。

【請求項8】

請求項7に記載のカラーフィルタを有することを特徴とする、液晶表示装置。

【請求項9】

請求項7に記載のカラーフィルタを有することを特徴とする、有機EL表示装置。